



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7 北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 渡部 裕幸

2015
国民春闘討論集会

「要求―交渉―妥結」のサイクル確立

道本部は1月9～10日、札幌市・自治労会館5階大ホールで「2015国民春闘討論集会」を開き、133地方本部・単組・総支部299人(うち女性54人)が参加した。

今春闘が重要なたたかい

基調講演Ⅰは、岸貞紀子自治労本部法対労安局長が「2014確定闘争の中間総括と2015春闘方針のポイント」と題し講演した。岸局長は「給与改定と



全道から299人が参加し、2015春闘方針について議論・討論した=1月9日、札幌市

1月26日から通常国会が開かれる予定だ。今年は「太平洋戦争の敗戦」から70年をむかえる。戦後レジームからの脱却を信条とする安倍首相が安全保障法制の整備に関し、集団的自衛権が行使できる状況を「存立危機事態」と位置

朝風

つげ、日本が武力攻撃を受けていなくても、自衛隊による武力行使を可能とする方針を固めた。この新たな概念を、武力攻撃事態法の改正案に盛り込み提出、成立する構えだ。「戦争のできる国」にしてはならないと声を上げ続けよう。

(協約・書面協定)の取り組みをはじめ、地公法改正による人事評価制度への対応、地方財政確立の取り組み、労働者保護ルール改悪阻止への取り組み、臨時・非常勤等

3%の賃上げが望ましい

伊藤教授は「『アベノミクス』は理屈も何もない政策。『生産―消費』の基本的経済活動がなければお金は出ていかない。2014年4月以降、日本経済は再度失速している」と指摘し、実質賃金の低下が購買力を低下させ、現在の景況を生



参加者からも多くの発言があり、方針が補強された

職員の雇止めなどの課題について提起した。

第1分科会は「職員と組織を元気にする人事評価」と題して小堀喜康さんが講演した。

小堀さんは、岸和田市人事・研修係長、参事で携わった経験を述べ、「人事評価制度Ⅱ昇給・勤勉手当に反映させると思われがちだが、行政サービ

政治活動は『禁止』ではない

2015道本部政治学習会

道本部は1月10日、札幌市・自治労会館で「2015年度道本部政治学習会」を開き、100地



全道から241人が参加し学習を深めた=1月10日、札幌市

能力を引き出し、いかに組織力を最大化させるかという目的で「人材育成型の人事評価制度」にしなければならぬ」と強調した。

第2分科会では、総務省通知『臨時・非常勤職員及び任期付職員の任用等について』の解説と活用と題し、北川啓子自治労本部総合民間局組織拡大部長が、通知に対する自治労の考え方と総務省通知の注意点、単組における労使協議の留意点などについて講演した。

今後、春闘方針は全道13地方本部で開かれる地公三者別春闘討論集会で議論を深める。その後1月29・30日の自治労本部中央委員会意見反映方針決定し、2月6日には道本部中央委員会では道本部中央委員会の方針の確認を行う。しっかりと議論・意思統一して、当面する春闘に結果を強め正規・非正規を問わず、すべての働くものの処遇改善と給与制度の総合的見直しに反対するたたかいを強化しよう。

地公三者 (全道庁労連・北教組) 自治労北海道本部

独自削減を停止せよ! 『総合的見直し』反対!

地公三者は、1月28日を最大の山場に全組合員・家族署名、超勤点検・拒否などの戦術を展開し、16年にもおよぶ「独自削減の停止」「給与制度の総合的見直し反対」を求め、1月27日の最終交渉まで職場からたたかいを進める。

1月28日(水) 早朝1時間スト

1月27日(火) 12:05～ 道庁東側前庭 全道昼休み総決起集会

自治労北海道本部 第120回中央委員会

2015年2月6日(金) 9:00～受付 9:30 開会 17:00 閉会予定

※会場は 北海道自治労会館5F 札幌市北区北6条西7丁目

JICHIRO スケジュール

- 1月
 - 21日(水) 第26回労文協リレー講座④ (札幌市)
 - 27日(火) 第10回執行委員会 (札幌市)
 - 28日(水) 第1回拡大闘争委員会 (札幌市)
 - 第1回組織強化・拡大行動委員会 (札幌市)
 - 29日(木) 第148回自治労中央委員会 (～30日、東京都)
 - 30日(金) 道本部OBL会2015年次定期総会 (札幌市)
 - 31日(土) 道本部女性部女性交流集会 (札幌市)
- 2月
 - 1日(日) 道本部女性部政治集会 (札幌市)
 - 5日(木) 第1回男女がともに担う自治労北海道推進委員会 (札幌市)
 - 6日(金) 第120回中央委員会 (札幌市)

道本部ホームページ

自治労北海道 ユーザー名:minnade
組合員専用ページは パスワード:danketsu2013

組織強化で運動前進

道本部青年部春闘討論集会

道本部青年部は、12月20・21日、札幌市・自治労会館で「2015国民春闘勝利！自治労北海道本部青年部春闘討論集会」を開き、108単組・総支部277人(うち女性53人)が参加した。



分散会では、日頃の不安や不満の声が出された=12月20日、札幌市

1日目は、渡邊前道本部青年部副部長が「2015春闘の課題と職場での実践」と題し講演した。渡邊前副部長は、春闘情勢や給与制度の総合的見直し、人事評価制度の問題点にふれながら「どんな取り組みも職場や生活のなかで実践しなければ何も変わらず、そのために仲間と一緒に一歩踏み出すことが大事だ」と強調した。

2日目は、道下大樹・道議会議員から、議員としての活動報告があり「公務員賃金は職場の賃金水準であり、賃上げは必要。そのために側面支援など最大限努力する」と力強い決意も出された。参加者からは「自分の思いを政治に届けてくれる議員の重要性に気づいた」など政治が身近なものであることを学んだ。

参加者の声



吉田 裕哉さん 東神楽町職

◆悩みを共有できてよかった
他の仲間も休日によべントや事業があり、多くを代休処理されており、消化もままならず、休みが取れない悩みをもって



宮崎 希さん 苫前町職

◆気づくことの重要性を感じた
超勤勤務で悩む仲間の実態を知った。賃金では



大場 光揮さん 積丹町職

◆職場の悩み吸い上げたい
分散会に参加する度に



「給与制度の総合的見直し」について、その仕組みを学ぶことができた。「気づくこと」の重要性を経験でき同年代の仲間がこんなにも多くいることにも驚きを感じた。

おーさかさんの国会だより



通常国会を目前にして、官僚やマスコミのみならず、政府や与党のことについて、さまざまな話が聞こえてくる。
それらから見えるのは、役人も与を抱えている方が多い。この不安を戦後最も重要な通常国会にする。現実のものとしなためにも、私たちが国会での存在感を高めなければならぬ。
150日間の党会合は、1月26日召集予定だが、戦後最も重要な国会となる。(1月16日、函館にて)

おーさかさんの「国会だより」



2013年2月1日号(第2063号)で、お休みしていた「おーさかさんの国会だより」は本号から連載を再開します。ぜひ、ご覧ください。

保険を見直し組合員の生活守ろう



職場だより

【空知地方本部発】妹背牛町職では、昨年11月25日に全労済自治労共済の「団体生命共済」を取り扱ったための単組契約を行い、2015年7月発効での取り組みがスタートしました。

進歩委員会の「団体生命共済」未取組単組オルグによって、共済推進の意義や組織加入のメリットを知ったことでした。9月3日には、全労済自治労共済北海道支部の鈴木さんを講師に学習会を開きました。組合員25人が参加し、

2人の保険証券を例にして、同等の保障で団生への切り換えシミュレーションを行いました。また、必要のない保障を見直し、掛金を抑えることができることを学びました。私たち公務員の給与削減の波が押し寄せるなかで、充実したライフスタイルを立てるためにも、

今後とも組合員の生活を守るため、道本部や地本推進委員会と連携し、学習会や個別相談会など、運動の継続をはかっています。



団体生命の加入を呼びかける、(左から)妹背牛町職・松浦委員長、小林書記長、北口特別執行委員

シリーズ「社会保障制度改革の行方」⑦

『署名運動』が行政を動かす力



前回、医療・介護総合推進法で医療法が一部改正され、勤務環境の改善等に関する事項が追加されたことお知らせしました。この改正の流れを作った二因が、自治労の取り組みであったことにご存知でしょうか？
2012年4月、自治労は、就労看護職員の200万人体制実現にむけて、「看護職員の離職防止と労働条件改善を求める署名運動」に取り組み、連合や地域住民などの協力もあり、163万筆の署名を厚生労働省に提出

忙中余話

新年早々、力首長・議員を誕生させフルエンザに感染してしまったり、インフルエンザに「組織強化のための特効薬はない」。私が青年部担当「タミフル」や「リレダ」だ。日頃からの丁寧な組合員との関わり、組合員との往復運動など、地道に積み重ねてこそ、本道の組織強化がはかられ、強大な力が生まれるのだと思う。
今年、統一自治体選挙がある。4年に一度の重大な政治決戦だ。私たちの職場環境や賃金労働条件改善のためには、一にむけて、ともに全力で頑張ろう。(引地圭太)